

科目名	数学B	単位数	2単位	学科・学年	全科 Bコース必修 3年	
使用教科書	改訂版 最新 数学B	数研出版	副教材等	特になし		
学習目標	数列およびベクトルについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を育てる。					
学習評価	○ 次の四つの観点に基づき、学習内容のまとめり（定期考査までを学習のひとまとめり）ごとに下の評価規準により評価を行い、学年末に5段階の評定に総括します。					
	①関心・意欲・態度	数学の論理や体系に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。				
	②数学的な見方や考え方	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。				
	③数学的な技能	事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。				
	④知識・理解	数学における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。				
		評価方法\観点	①	②	③	④
学習状況観察		◎	—	—	—	学習態度や状況を観察
課題提出		○	◎	◎	◎	副教材、プリント等
ノート提出		◎	○	○	○	学期に数回提出
ペーパーテスト		—	○	◎	◎	小テスト、定期テスト
※表中の◎は観点の中でより重視するところです。						
履修上の注意	<p>数学の学習はピラミッド型で積み上げ式になっており、基礎学力を身につけ、前時までの内容が十分に理解できていないと、次の授業の内容は理解しにくくなります。教科書もそのような主旨で編成されていますので、毎日の予習・復習を必ずする必要があります。</p> <p>数学Bの内容には、数学I・II・Aと関連する内容も含まれています。過去に学習した分野をしっかりと復習し、十分理解しておきましょう。</p>					

学期	月	学 習 内 容	時数	学 習 の ね ら い	学習活動（評価方法）
1	4	第1章 平面上のベクトル 第1節 ベクトルとその演算	16	<ul style="list-style-type: none"> ・ベクトルの意味について理解する。 ・ベクトルの加法，減法，実数倍とその性質について理解する。 ・ベクトルの成分と成分による演算やベクトルの大きさについて理解する。 ・ベクトルの内積とその性質について理解する。 	学習状況観察 課題提出 ノート提出 小テスト 中間テスト
	5				
	6	第2節 ベクトルと平面図形	14	<ul style="list-style-type: none"> ・位置ベクトルの意味や線分の内分点・外分点の位置ベクトルについて理解する。 ・位置ベクトルを用いて，平面図形の性質を調べる。 ・ベクトル方程式の意味，及び直線や円のベクトル方程式を理解する。 	学習状況観察 課題提出 ノート提出 小テスト 期末テスト
2	9	第3章 数列 第1節 数列とその和	16	<ul style="list-style-type: none"> ・数列の概念および用語の意味を理解する。 ・等差数列の意味や一般項、和の公式について理解し、活用できるようにする。 ・等比数列の意味や一般項、和の公式について理解し、活用できるようにする。 	学習状況観察 課題提出 ノート提出 小テスト 中間テスト
	10				
	11		14	<ul style="list-style-type: none"> ・自然数の2乗の和の求め方を理解する。 ・記号Σの意味，性質，公式を理解する。 ・階差数列について理解する。 ・分数の数列の和や和が与えられた数列の一般項を求めることを理解する。 	学習状況観察 課題提出 ノート提出 小テスト 期末テスト
	12				
3	1	第2節 漸化式と数学的帰納法	10	<ul style="list-style-type: none"> ・漸化式から一般項を求めることを理解する。 ・数学的帰納法の考え方を理解する。 	学習状況観察 課題提出 ノート提出 小テスト 卒業テスト